

東京湾沿岸海岸保全基本計画[東京都区間]の概要

海岸保全基本計画について

海岸保全基本計画とは、国が定める海岸の保全に対する基本的な指針である「海岸保全基本方針」に基づき、**防護・環境・利用**の観点から海岸の保全や、防潮堤、水門等の海岸保全施設の整備に関する事項を定めた法定計画

防護 浸水被害から都民を守り、安全で安心な暮らしを提供する

- ・防潮堤等の海岸保全施設を整備し、最大級の津波・高潮から都民の生命・財産を守る

環境 自然と共生したみどり豊かでうるおいのある海岸を創造する

- ・海岸保全施設の周辺の景観との調和を図るため、地域ごとの景観特性との調和等に配慮しながら良好な水辺空間の形成

利用 憩える快適な親水空間を創出するとともに運河利用の活性化を図る

- ・誰もが利用しやすい水辺となるよう快適な親水空間を創造し、都民の潤いと安らぎの場として活用

改定の背景

気候変動の影響による平均海面水位の上昇はすでに顕在化しつつあり、今後、さらなる平均海面水位の上昇や台風
の強大化等による沿岸地域への影響が懸念されている

これまでの台風や地震への対策に加え、**気候変動の影響**を考慮し「防護」の強化を図るとともに、引き続き「環境」「利用」にも調和した海岸保全施設整備を推進

海岸保全基本方針（国）

海岸の保全に関する全体計画

東京湾沿岸海岸保全基本計画

各都県の海岸の区間に関わる詳細な事項

千葉県区間

東京都区間

神奈川県区間



<辰己水門・排水機場>



<東雲二丁目防潮堤>

東京湾沿岸海岸保全基本計画[東京都区間]の概要

防護

耐震・耐水対策

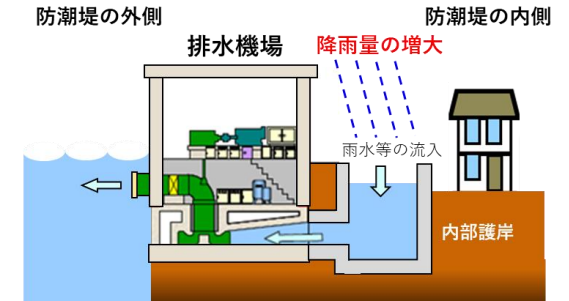
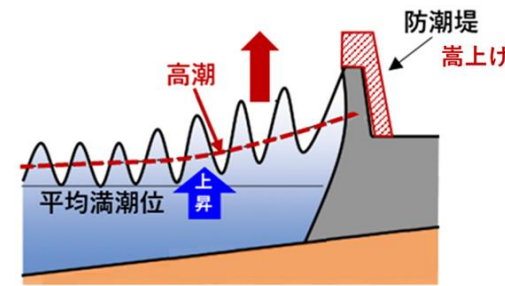
- ▶ 最大級の地震を対象とした海岸保全施設の耐震対策を推進するとともに、水門、排水機場の電気・機械設備が浸水しないよう、耐水対策を実施する

海面上昇と台風の強大化への対応

- ▶ 将来の気温が2°C上昇すると想定し、これによる平均海面水位の上昇や台風の強大化に対応するため、防潮堤の嵩上げを実施する

降雨量の増大への対応

- ▶ 気候変動の影響により一日当たりの降雨量が1.1倍に増加することを想定し、これによる内水氾濫を防ぐため、排水機場の機能強化を図る



< 防潮堤 >



< 排水機場 >

環境

水辺空間の良好な景観形成

- ▶ 地域ごとの景観特性との調和等に配慮しながら良好な水辺空間の形成に努める
- ▶ 水門の配色方針は門扉と水門上屋に明度差をつけ、大きく重苦しい構造物のイメージを軽減する

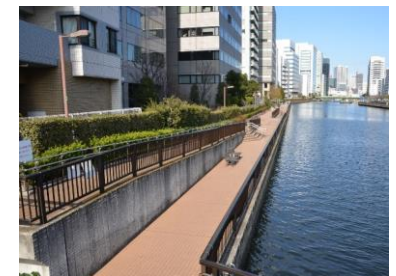


< 水門配色イメージ >

利用

親水空間ネットワークの形成

- ▶ 誰もが利用しやすい水辺となるよう、可能な限り防潮堤や内部護岸の上部を遊歩道として開放し水際の連続化を図る
- ▶ 整備にあたっては、ユニバーサルデザインの推進を図り、快適な親水空間を創造する



< 内部護岸上部の遊歩道 >